

「第15回 統計的安全評価手法標準分科会」議事録

日 時：2017年4月11日(木) 13:30～17:00

場 所：原子力安全推進協会 13階 第1, 2会議室

出席者（敬称略）

出席委員：田中主査，工藤副主査，佐々木幹事，末廣幹事，滝井幹事，西浦幹事，本谷幹事，
尾崎，竹田，堂田，山名，三輪

専門部会：鈴木幹事

欠席委員：なし

常時参加者：片山，金子(順)，木下，笹川，武田，早川，福田，山田，溝上

オブザーバー：金子(浩)，宍道

事務局：谷井

配付資料：

P9SC15-1 人事について

P9SC15-2 「統計的安全評価手法標準分科会」の再開について

P9SC15-3 トピカルレポートの技術評価について

P9SC15-4 統計的安全評価手法分科会の進め方について（案）

P9SC15-5 原子力学会標準「統計的安全評価の実施基準：2008」について

P9SC15-6 シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン：2015の概要

P9SC15-7-1 統計的安全評価の実施基準：2008の課題整理表

P9SC15-7-2 標準の構成の変更案（1）

P9SC15-7-3 標準の構成の変更案（2）

P9SC15-7-4 標準の構成の変更案（3）

参考資料：

参考-1 出席者名簿

参考-2 「炉心燃料・熱水力関連標準の改定要否等検討のためのタスクグループ」の
検討結果の報告

参考-3 トピカルレポート審査再開に係る議論（NRA 殿との面談）の状況について

議事

1. 出席者／資料確認

専門部会の鈴木幹事から本分科会の再開に関する説明がなされた。また，原子力学会の行動指針と倫理規定について参加者で読みあわせを行い，内容を確認した。引き続いて出席者の自己紹介が行われ，配布資料を確認した。

2. 人事について (P9SC15-1)

委員と常時参加者の選任については専門部会にて承認が得られていることが説明された。主査は委員の互選により田中委員(茨城大)が選出された。副主査は工藤委員(電中研)が、幹事は末廣委員(東電 HD)が田中主査から指名された。幹事については、本分科会の運営を効率よく行うため、佐々木委員(関電)、滝井委員(日立 GE)、西浦委員(MHI)、本谷委員(東芝)の5名の幹事で協力して進めていくことを提案し、指名された。

分科会と学会の間の連絡窓口は西浦委員が行うこととなった。また、専門部会への分科会の代表は工藤副主査が行うことが提案され、了承された。

越智常時参加者の登録解除が報告され、金子(順)常時参加者の登録が承認された。次回の専門部会で報告し、確認を得ることとなった。

3. 分科会の設置、標準改定の進め方について (P9SC15-2,3,4)

分科会再開の経緯として、タスクグループでの改定要否検討を経て改定のために分科会を再開すること、そして、第15回が改定へ向けた再開の第1回目となることが佐々木委員から説明された。また、1年間で改定を目指すことが確認された。また、本標準に対するニーズとして、電気事業者とNRAの間で行われたトピカルレポートに関する面談の紹介があった。

現行標準の元ファイルを分科会の標準改定作業に活用することについて日本原子力学会事務局の了承を得た。

4. 現行の統計標準、V&V ガイド※の概要 (P9SC15-5,6)

本分科会で行う改定作業の検討のため工藤副主査から現行標準の概要が説明され、参加者で内容を確認した。また、統計標準と関連性があるV&Vガイドについて説明があり、V&Vガイドの関係性を意識して改定作業を行うことが求められることを確認した。

※シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン：2015

5. 現行標準の課題整理 (P9SC15-7-1～4)

改定作業において検討する課題の概要が工藤副主査から説明された。また、各課題のとりまとめ担当の提案もあり、次回会合時に各課題の担当を決めることとなった。参加者(常時参加者も含む)が担当する課題を本谷委員がとりまとめ、次回会合の議題とすることとなった。

現行標準の構成が標準作成の手引:2015と相違があることから、標準の構成について3つの変更案が工藤副主査から説明された。参加者は各変更案を検討し、次回会合にて標準の構成を決めることとなった。

6. その他

次回会合は5月中旬（5/23 予定）に開催することが西浦委員から説明された。会議室の場所や日時が決まったら連絡することとなった。

以上